

第4期中期目標期間における 国立大学教育研究評価の基本的な考え方

【参考】

＜文部科学省国立大学法人評価委員会からの要請事項（留意点）＞

- ・ 教育研究の状況に係る評価の実施要領等について、法人からの意見も十分に踏まえて評価の実施方法等を検討し、可能な限り早期に決定。
- ・ 評価関係業務の負担軽減の観点から、学部・研究科等の教育研究の水準（質の向上の状況を含む）の分析（以下、「現況分析」）について、分析項目の見直しや各法人から提出を求めるデータの精選を行うこと。
- ・ 第3期中期目標期間評価において、現況分析結果を中期目標の達成状況評価に活用しているが、その結果を検証した上で、必要に応じて活用方法を見直すこと。
- ・ 各法人における教育研究の質の向上に資するとともに、社会への説明責任を十分に果たせるよう、現況分析結果を含む評価結果の丁寧なフィードバックに努めること。

1. 学部・研究科等の現況分析

ポイント	第3期	第4期	備考
実施時期	4年目終了時評価のみ	同左	
評価対象 (現況分析単位)	(教育) 学部・研究科等 (研究) 学部・研究科等	(教育) 学部・研究科等 (研究) 教員の主たる所属組織	
分析項目	(教育) <u>教育活動の状況</u> <u>教育成果の状況</u> (研究) <u>研究活動の状況</u> <u>研究成果の状況</u>	(教育) 教育の状況 (研究) 研究の状況 教育・研究の分析項目を一本化し、項目間の重複を解消し、評価に係る作業負担を軽減。	
段階判定	4段階（特筆、高い質、相応の質、質の向上が求められる）	同左	
研究業績水準判定	代表的な研究業績に対し、 3段階（SS：卓越、S：優秀、S未満）	同左	
データの見直し	入力データ集※1として、 <u>296項目を収集</u>	入力データ集を廃止し、データ分析集の指標を 28指標に精選することによって、<u>収集データを約60項目に精選</u>	実績報告書作成要領（R6作成）に反映
	データ分析集※2として、46指標を作成するため、296項目のうち100項目を使用		

2. 中期目標に関する達成状況評価

ポイント	第3期	第4期	備考
段階判定	<u>中期目標</u> 大項目：6段階 中項目：6段階 小項目：5段階 中期計画：3段階	<u>中期目標：6段階</u> <u>中期計画：5段階</u> <u>評価指標：3段階</u>	〔国の実施要領に準拠〕
4年目終了時評価と6年目終了時評価の関係	6年目終了時評価においては、4年目終了時評価結果を変えうる顕著な変化を中心に評価	同左	
意欲的な評価指標の取扱い		<u>【新設】</u> <u>達成した場合、他の指標よりも高く評価</u> <u>また、達成していない場合でも、その取組や進捗を確認した上で評価</u>	

※1 法人全体及び各学部・研究科等の状況について、項目別・年度別にすべての国立大学教育研究評価データを一覧化したもの。

※2 入力データ集の一部を基に指標として出力したもの。（例）標準修業年限内の卒業・修了率、本務教員あたりの外部研究資金の金額